

令和7年度 Y-CROST 研究奨励賞
受賞者の研究業績

受賞者：柳本 恵太（やなぎもと けいた）

衛生環境研究所 主任研究員

研究テーマ：遊離塩素消毒が困難な県内温泉施設における
モノクロラミン消毒の効果と細菌叢への影響

研究業績：高アルカリ性温泉水では、従来の遊離塩素による消毒が十分に機能しないという公衆衛生上の課題が存在する。この問題に着目し、結合塩素であるモノクロラミンを用いた消毒技術の有効性を実証した成果は高く評価される。また、初期投資を必要としない、安価で簡易な手投入方式を開発し、県内温泉施設への導入を推進した結果、すでに複数の施設で衛生管理の改善が確認され、「感染症に強靱な地域づくり」の推進に大きく貢献している。さらに、この成果は厚生労働省による公衆浴場衛生管理要領の改正に反映され、全国の自治体への通知を通じて普及が進んでいる。

受賞者：尾形 正岐（おがた まさき）

産業技術センター 主任研究員

研究テーマ：プラスチック製品の高品質化に関する研究と
業界への技術的支援

研究業績：プラスチック製品のメタルハライドランプ照射による耐候性試験機による劣化促進試験と屋外暴露試験の相関を明らかにし、屋外暴露年数に相当する試験時間の推定に成功した。さらに、両試験における劣化状況の違いを解明したことで、プラスチック産業界の製品開発に大きく貢献した。今後は、プラスチック製品の耐候性試験規格の策定への寄与も期待される。プラスチック製品の高品質化は、長期的な安心・安全な利用を実現するだけでなく、県民生活の向上に資するとともに、世界的な課題であるマイクロプラスチック問題の解決にも大きく貢献すると考える。

令和7年度 Y-CROST ポスター賞 受賞者 選定理由

最優秀賞：加地 奈々（かじ なな）

水産技術センター 主任研究員

**ポスタータイトル：機能性食材としての富士の介、
県産マス類の可能性**

選定理由：本ポスターは、富士の介に機能性成分（ビタミン D）が豊富で、皮や内臓にも多く含まれるという注目すべき成果を効果的に強調している。特に「背景・目的」などの各項目では、要点が簡潔に整理されており、閲覧者にとって理解しやすい構成となっている。また、写真を多用し、試験方法と結果もコンパクトかつ分かりやすく整理されており、閲覧者が最後まで興味を持って読み進められるよう工夫されている。

優秀賞：吉本 充宏（よしもと みつひろ）

富士山科学研究所 研究管理幹

ポスタータイトル：富士山噴火の減災に資する実験教材の開発

選定理由：本ポスターは、立体模型や実験手順の写真入り説明などが効果的に配置されており、科学的知識に基づき主体的に行動できるよう小中学生を育成する目的で開発された教材の具体性と実践性が一目で伝わる。色使いには落ち着きと一体感があり、情報整理も明快で、閲覧者の理解を促進するデザインとなっている。研究成果を教育現場に橋渡しするという目的にふさわしい、説得力のあるビジュアル表現が高く評価される。

優秀賞：米山 陽（よねやま あきら）

産業技術センター 主任研究員

ポスタータイトル：NC 制御による局所的ピーニング処理法の研究

選定理由：本ポスターは、新たに考案した機械部品表面加工の処理手法について、その技術的な複雑さを視覚的にわかりやすく伝える工夫が随所に見られる。図表や写真が豊富に配置されており、特に高速度カメラによる観察画像や加工痕の拡大図は、研究の説得力を一層高めている。色使いは落ち着きがあり、情報整理も明快で、専門的な内容でありながら閲覧者の理解を助ける構成となっている。研究の新規性と応用可能性を視覚的に効果的に訴求する、完成度の高いポスターである。

優秀賞：塩谷 諭史（えんや さとし）

果樹試験場 研究員

**ポスタータイトル：データを活用した「シャインマスカット」の
多収・高品質安定生産技術の確立**

選定理由：本ポスターは、視覚的構成に優れており、研究の流れが一目で把握できるよう整理されている。色彩設計は落ち着きがありながら、要点が視覚的に際立つよう配慮されている。図表や写真も豊富に用いられており、安定同位体炭素（ ^{13}C ）による養分転流の可視化や、果房重と糖度の関係など、複雑な試験内容も直感的に理解できるよう工夫されている。